

政権交代で希望ある新しい政治を いのち・暮らし・営業第一の区政へ 区民要求実現に全力で頑張ります!

日本共産党 大田区議団 ニュース

日本共産党大田区議団

大田区蒲田5-13-14
TEL 03-5744-1477
FAX 03-3730-3447

E-mail
kugidan@jcp-ota.jp

ご意見・ご要望を
お寄せください。

区政懇談会
(予定) 2月16日(火) 午後6時30分
入新井集会所(入新井大森4F)



全ての小中学校体育館に 3年間でエアコン設置が実現

党区議団が要求し、区民の世論と運動で、区内の全ての小中学校に、来年度までエアコンが設置されます。

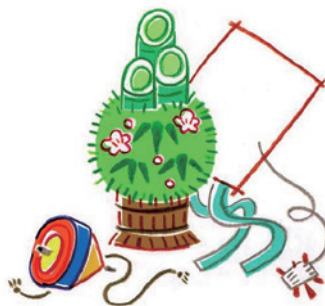


設置と今後の計画予定
以前からの設置が、小学校1校・中学校2校
2019年度設置
小学校4校・中学校8校
2020年度設置(前期)
小学校20校・中学校3校
(後期予定 工事中)
小学校7校・中学校3校
2021年度設置予定
小学校27校・中学校12校

菅自公政権が誕生しましたが、新型コロナ対策の無為無策ぶり・学術会議人事介入問題での民主主義の蹂躪等で、早くも深刻なゆきづまりが加速しています。また、一昨年の消費税増税に加え、新型コロナウィルスの影響で、区民の暮らしも商工業等の営業も、深刻な状況が続き、倒産・廃業が後を絶ちません。さらに4月からは、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、各保険料の大幅増・改悪が計画されており、いのちと暮らしを守る政治への転換が求められています。

松原自公区政は、コロナ禍のもと今後3年間で、580億円の財政不足が生じると発表しましたが、今後の計画で、多額の財政投入が予想される新空港線「蒲蒲線」計画、羽田空港跡地開発等の大型開発をすすめようとしています。さらに今年も区民への負担増をすすめようとしています。

日本共産党大田区議団は、今年も区民の皆さんと共同を強め、PCR検査の抜本的強化、暮らし第一の区政実現に全力を挙げ、てまいります。



区議会日程(案)

2月
10日(水) 請陳締切
16日(火) 定例会(第1日)
24日(水) 定例会(第2日)
代表質問 清水議員
25日(木) 定例会(第3日)
一般質問 黒沼議員
26日(金) 常任委員会
3月
1日(月) 常任委員会
3日(水) 特別委員会
5日(金) 定例会(第4日)
8日(月) 常任委員会
9日(火) 18日(金)・22日(月)
予算特別委員会
25日(木) 定例会(最終日)
請願・陳情をお寄せください。
傍聴にお越しく下さい。



杉山こういち

こども文教委員
羽田空港対策特別委員
☎ 3730-3480



あらお大介

まちづくり環境委員
交通臨海部活性化特別委員
☎ 3757-9881



すがや郁恵

健康福祉委員
オリンピック(パラリンピック)観光推進特別委員
☎ 3768-5844



福井りょうじ

政調会長
総務財政委員
オリンピック(パラリンピック)観光推進特別委員
☎ 5754-3028



大竹辰治

副幹事長
健康福祉委員
交通臨海部活性化特別委員
☎ 3730-3480



黒沼良光

副団長
総務財政委員
防災安全対策特別委員会副委員長
☎ 3735-6467



佐藤 伸

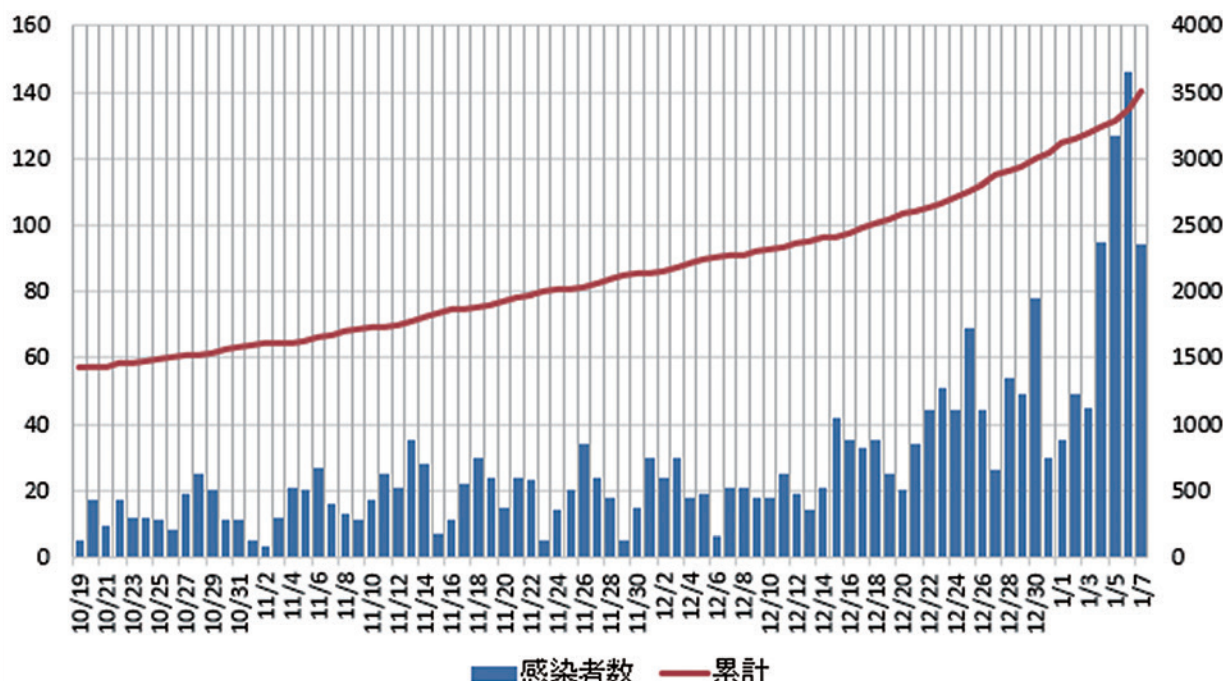
幹事長
地域産業委員
防災安全対策特別委員
☎ 3298-6362



清水菊美

団長
こども文教委員
羽田空港対策特別委員
☎ 090-3342-3001

区政と暮らしの
相談はお気軽に



大田区の新型コロナウイルス感染者数の推移 (1月7日現在：区ホームページより)

いま、日本では新型コロナウイルス感染症第3波が襲っています。菅政権の無為無策のもとで、大田区でも感染者が3741人(1月7日現在)にのぼり、命と健康の危機とともに、暮らしも営業も危機にさらされています。

福祉・介護・教育施設等でも感染予防のために必死の努力が続けられています。また、中小工商业者の営業は深刻な事態に陥っており、必死に努力して支援制度等で急場をしのいだ資金が、底をつきはじめています。

日本共産党区議団は、今年になって新型コロナウイルスの感染症対策について、第1次から第11次まで要望や議会で提案を行ってきました。また、区議会には補正予算が1次〜7次まで提出され、党区議団の要望が実ったものや、区民の要求と一致するもので賛成してきました。

しかし、補正予算のほぼすべては国の施策で、他の自治体で実施されているものと同様で、PCR検査の抜本的拡充や、区民や区内事業者への支援などの、コロナ感染被



第10次要望を提出する党区議団 (7月31日)

党区議団の11次にわたる要望 いのち・くらし・営業支援実現

害を踏まえた区民救済対策が急ぎ必要との立場から、補正予算は不十分であり、区民の願いに応えるために、編成替えの提案をしました。

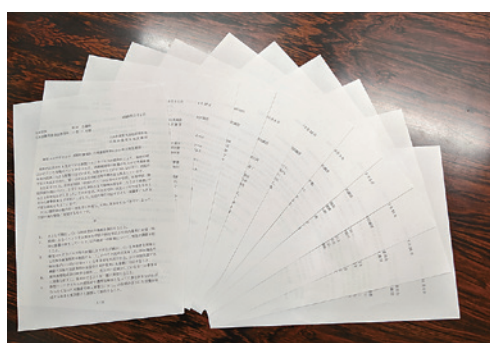
PCRセンター の設置実現

第4次要望(4月30日)で「PCRセンターを早期に設置を」と求めました。その後、第1臨時会(5月26〜27日)第2次補正予算で、設置の予算が計上されました。

PCRセンター

3か所に設置実現

また、第6次要望(5月22日)で「3医師会とも協議をして財政支援を行い、検査体制の拡充



を行うこと」、第2次・第3次・第5次補正予算の編成の替えて「PCR検査2か所増」を求めました。

この提案に自民党など「PCR検査は十分であり増やす必要はない」などの理由で否決しました。

後日、区は8月から区内3か所で拡大実施(医師会ごとに、週2日ずつ実施)を決定しました。

さらに党区議団は、小中学校教職員、保育士・学童保育職員、高齢者施設従事者・介護施設従事者・障害者施設従事者にPCR検査費用を助成を求めてきました。

くらし・営業支援 についても実現

党区議団は、くらしや営業についても様々な要望を行い、インフルエンザ予防接種助成金1歳以上15歳以下(1回2千円補助)・65歳以上(全額補助)等党区議団の提案が実現しました。

(下図参照)



(第2回臨時会5次補正予算で実現しました)

- ・コロナ感染症で増額した生活困窮者の住居確保給付金増
- ・障害者福祉・介護サービス事業所への事業継続緊急支援金
- ・職員の感染予防業務手当の増
- ・インフルエンザ予防接種助成金1歳以上15歳以下(1回2千円補助)・65歳以上(全額補助)党区議団の提案が実現
- ・中小企業融資利子補給増、新製品・新技術開発支援事業拡充
- ・コロナ感染症で増額した就学援助費増
- ・小・中学校、さざなみ学校へ非接触型自動水栓導入
- ・水害被害を教訓に水防対策施設の土地購入(田園調布5丁目)

(第3回定例会6次補正予算で実現しました)

- ・大学進学生・在学生臨時給付型奨学金の創設
- ・高校等給付型奨学金の対象者の臨時拡大(8万円、人数増)
- ・感染患者受入医療機関への支援
- ・保育園・児童館・幼稚園、小中学校・特別支援学校への支援
- ・すこやか赤ちゃん訪問で衛生資材の購入等の拡充
- ・こども食堂推進事業に対する拡充(1施設170万円に拡充)
- ・区内小中学校への「学習指導サポーター」の設置
- ・空調等操業環境の向上への取り組みに支援
- ・大田区感染拡大防止協力金(都協力金に1社10万・5万円増)